

講義名	日本語資格試験講座 【N1対策】			授業形態	
担当教員	上仲 淳	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

日本語能力試験（N1）合格と同等レベルの日本語能力を養成する。
問題解決のコツとポイントを整理する。
文字読解・聴解・文法・読解の各スキルを網羅する。

到達目標

日本語能力試験（N1）の合格を目指す。
練習問題を解きつつ、自身の弱点補強とレベルアップができるようになる。

提出課題

ワークシート、宿題など、授業内もしくはポータル上で随時指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

テストや課題について、自々にチェックおよびコメントを行い、また、全体としての講評・解説等も行ってフィードバックをする。

評価の基準

授業参加度（30%）、小テスト3回（36%）、期末テスト（34%）

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とる。
全授業の1/3以上欠席したものは、試験を受けることができない。
連続3回で、1回欠席とする。
15分以上の遅刻は欠席とみなす。
授業の出席と課題をしっかりとすること。
真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

プリント資料もしくはウェブ資料を利用する。
<参考文献>
『パターン別徹底ドリル 日本語能力試験N1』 西岡俊哉ほか アルク
『ドリル&ドリル日本語能力試験N1文字読解』 ユニコム
『ドリル&ドリル日本語能力試験N1文法』 ユニコム

授業計画

1. オリエンテーション、文字読解
2. 文字読解
3. 文字読解
4. 文字読解
5. 聴解、復習と小テスト（1）
6. 聴解
7. 聴解
8. 文法、復習と小テスト（2）
9. 文法
10. 文法
11. 文法
12. 読解、復習と小テスト（3）
13. 読解
14. 読解
15. 期末テスト

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各資料の予習と復習をしっかりと行うこと。語句の読みや意味調べなどの予習を毎回1時間行ってください。そして、特に復習に力を入れてください（毎回2時間）。関連する練習問題もやってみるといいです（1時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群であり、資格取得に向けた総合的な日本語能力の向上とともに、本学のディプロマポリシーの一つである論理的思考力を持った人材育成にも資する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考